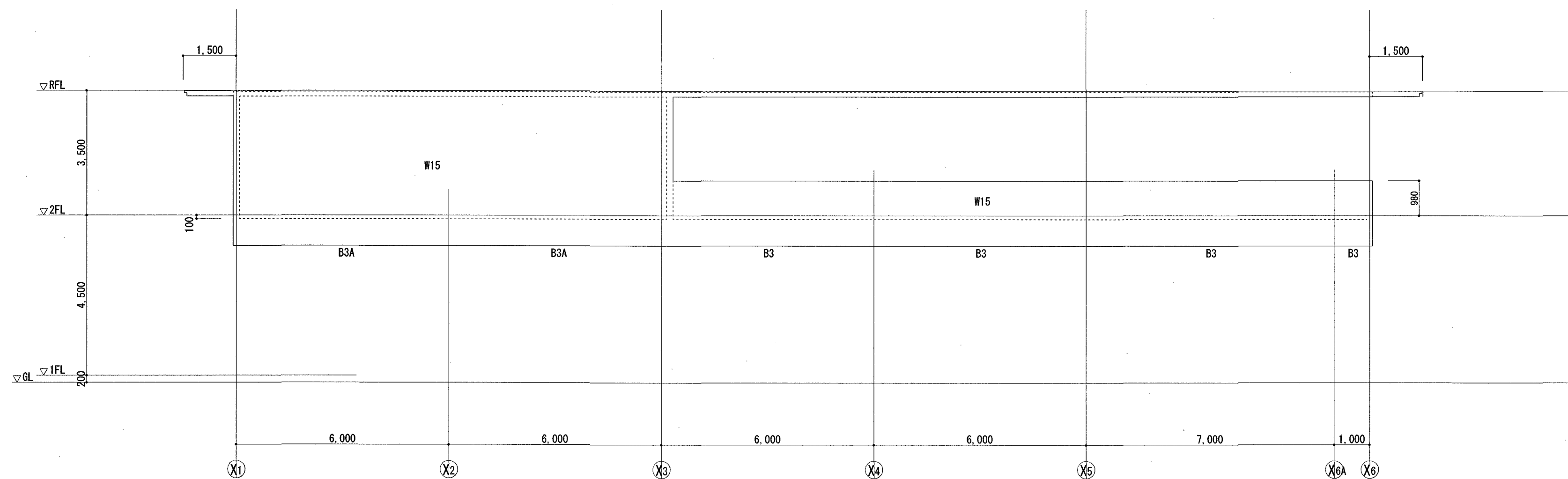
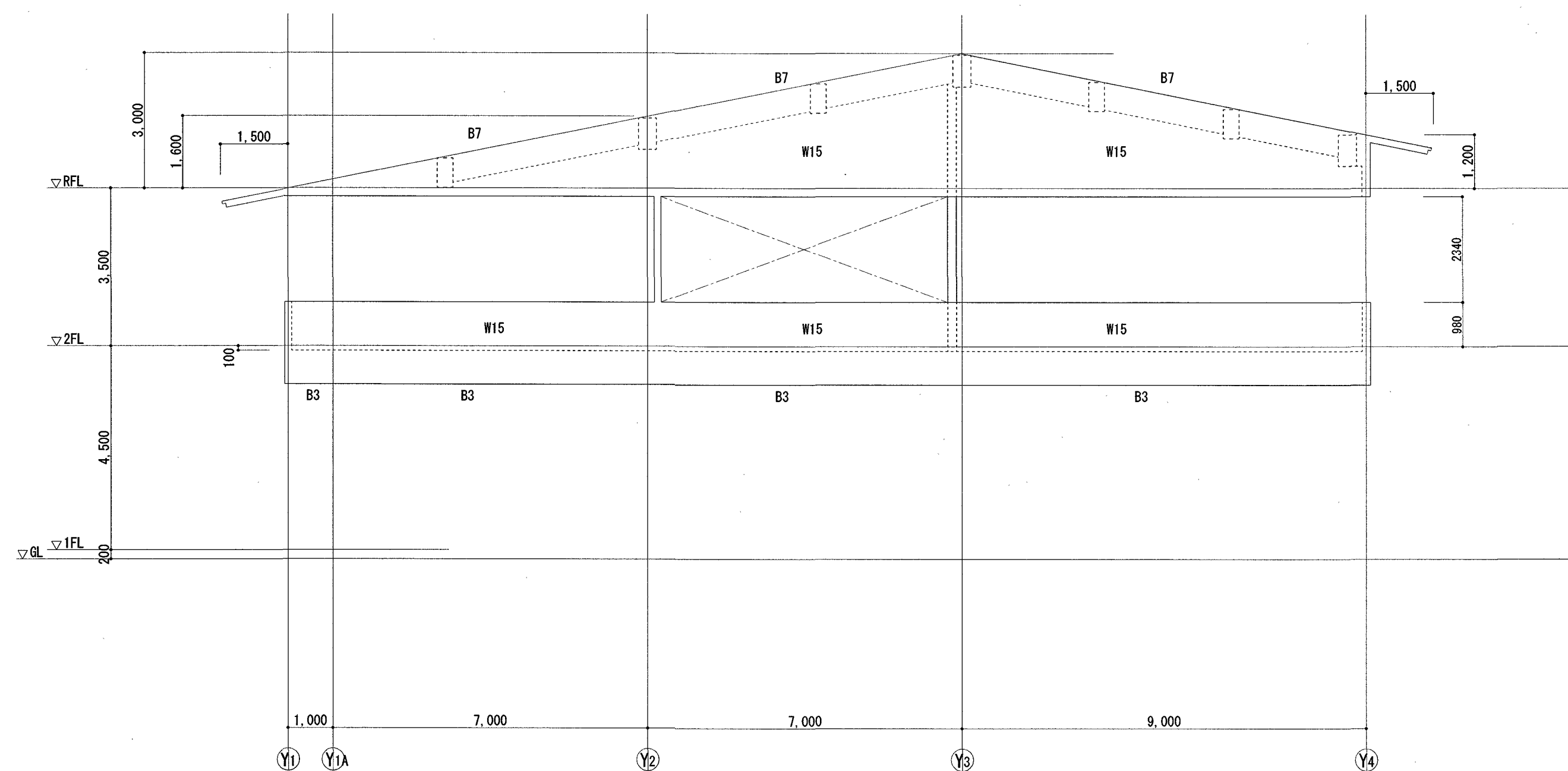




Y1 通り 軸組図 1:100



X6 通り 軸組図 1:100



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大下	西村	松本

叫建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY

1-1-15 SHINYASIKI
KOSHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

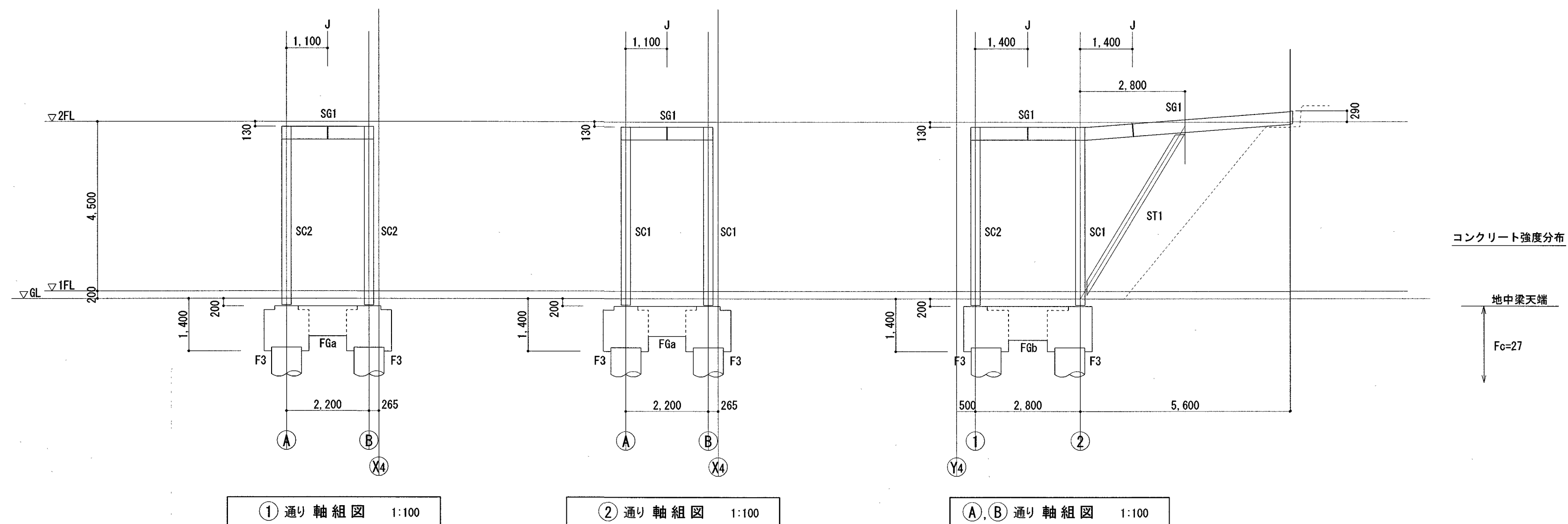
PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

軸組図 (6)

SCALE
1/100

(A3は70%出力)

構造
1/6



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大下	山崎	松本

草建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY
一級建築士 大臣登録第329877号 横島康

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

軸組図 (7)

SCALE
1/100

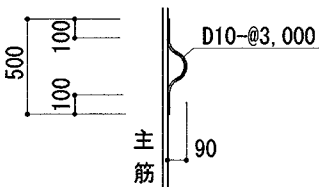
(A3は70%出力)

構造
17

杭 配筋リスト 1:40

符 号	P1	P2	P3
杭 径	1,200 φ	1,000 φ	800 φ
杭支持力（長期）	3,000 kN/p	2,000 kN/p	700 kN/p
基 数	17 基	9 基	4 基
杭頭部			
杭 長	7.0m	7.0m	4.5m
主 筋	24-D25	24-D25	12-D22
フープ	○ -D13-@150	○ -D13-@150	○ -D13-@150
杭脚部			
杭 長	5.0m, 9.0m, 12.0m	5.0m	
主 筋	12-D25	12-D25	
フープ	○ -D13-@300	○ -D13-@300	

場所打ちコンクリート杭一般事項

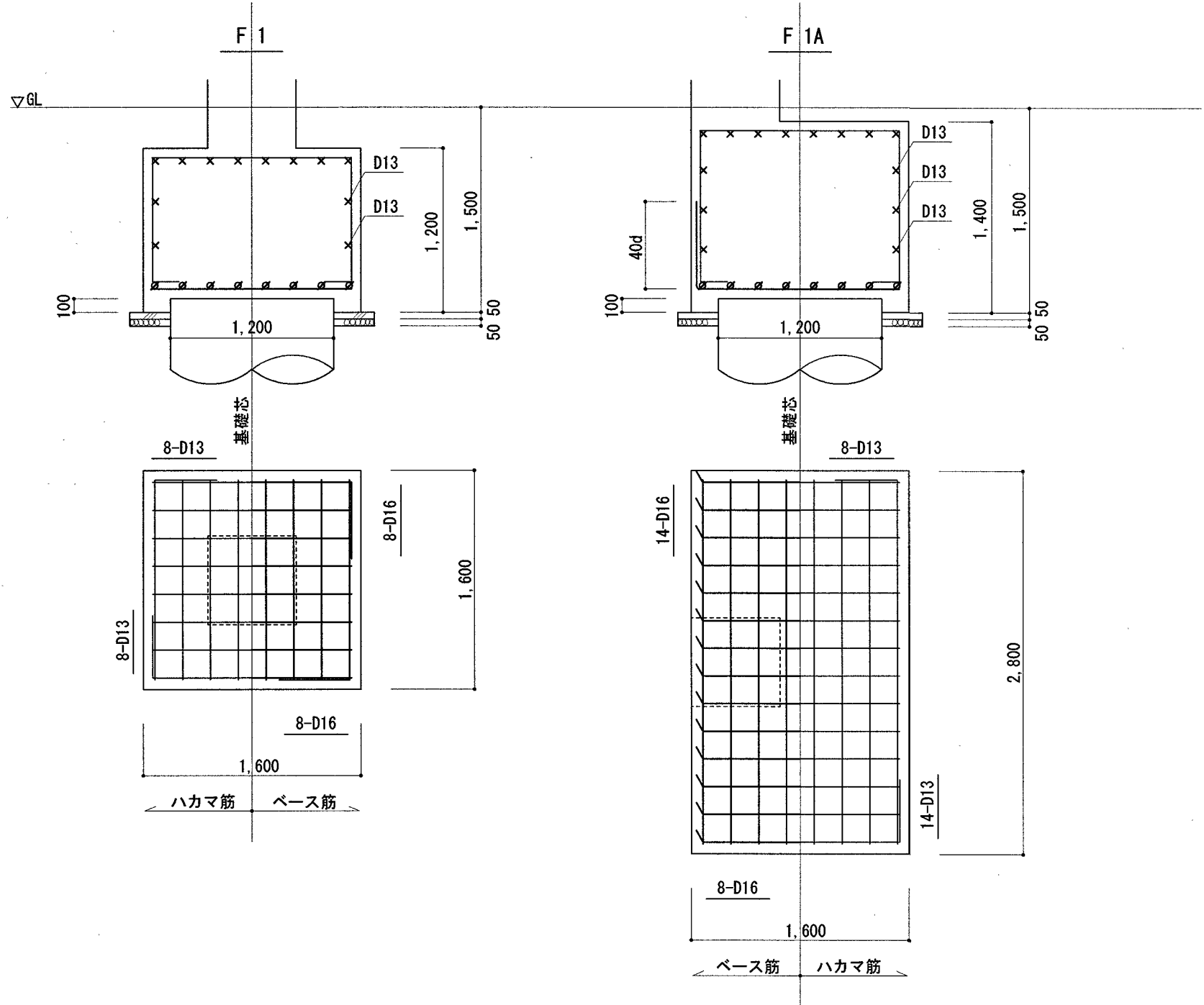
1	杭 種	場所打ちコンクリート杭		
2	杭工法	アースドリル工法		
3	使用材料	コンクリート	$F_c = 27 \text{ N/mm}^2$	SL= 18 cm
		鉄筋	主筋 : SD345 (D25, D22)	
			フープ : SD295 (D13)	
4	鉄筋加工	主筋と帯筋の組立は、結束線にて行う。		
		主筋継手は重ね継手（ $L = 45 d$ ）とする。		
		フープ継手は重ね溶接継手（片面 $L = 10 d$ ）とする。		
		鉄筋カゴの補強は、「鋼板 $6 \times 50 \text{ mm}$ の補強リングを 3 m 以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上設け、リングと主筋との接触部を溶接する方法」を標準とする。		
		ただし、他の適切な方法を用いる場合は、この限りでない。		
		スペーサーは、下図に従い 1カ所につき6本以上設ける。		
				
5	杭頭処理	杭コンクリートは、基礎より 1.0 m 以上余盛をする。余盛部撤去は、主筋を傷つけないこと。		
		杭主筋は、基礎中に $40 d$ 以上定着さす。		

基礎柱 配筋リスト 1:40

※ 基礎柱芯＝鉄骨柱芯とする。
※ 柱頭部四隅の主筋はフック付きとする。

柱符号	SC1, SC2
断 面	
コンクリート	630 × 630
主 筋	12-D22
帯 筋	D13-□-@100

基礎 配筋リスト(1) 1:40



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長

岬建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY

一級建築士 大臣登録第329877号 横昌康

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 089-824-0177
FAX 089-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

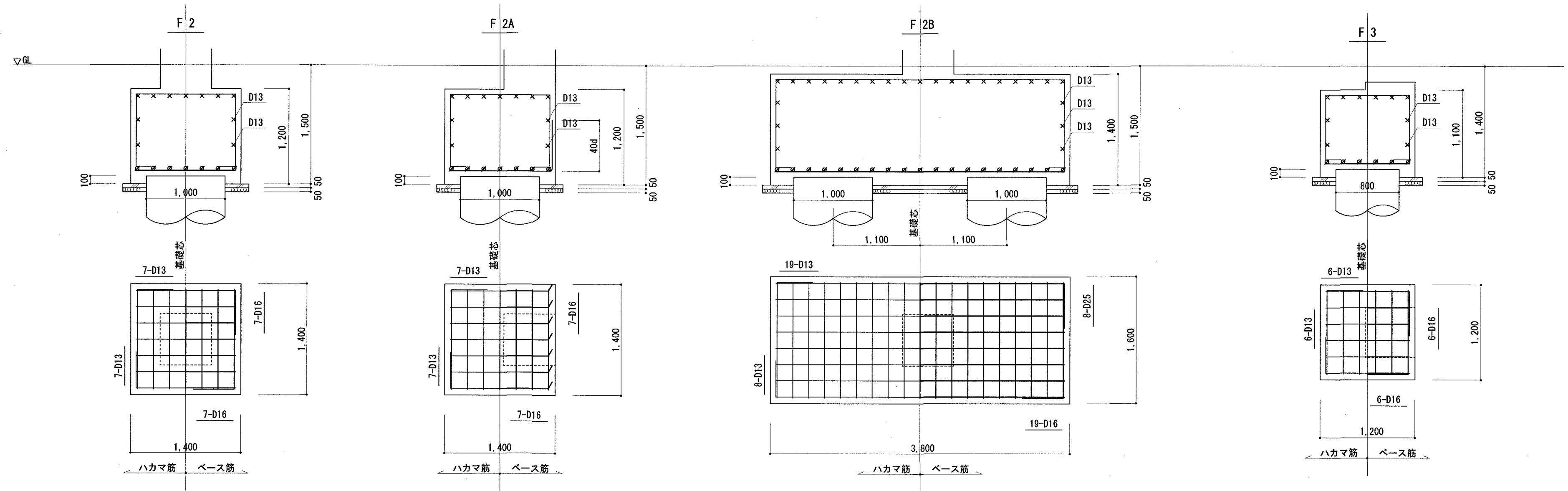
杭リスト、
基礎配筋リスト(1)

SCALE
1/40

(A3は70%出力)

構造

18



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大下	山崎	松本

叫建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

一級建築士 大臣登録第329877号 横畠康

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

基礎配筋リスト(2)

SCALE
1/40

構造

19

(A3は70%出力)

符号	FG1	FG2	FG3		FG11		FG12	FG13		FG14		FG15		
断面名	全断面	全断面	全断面		Y1A 端, 中央	Y2 端	全断面	Y4 端, 中央	Y3 端	Y4 端, 中央	Y3 端	Y1A 端, 中央	Y2 端	
▽GL														
断面														
コンクリート	450×1300	450×1300	450×1300		450×1200		450×1200	450×1200		450×1200		450×1200		
上端筋	5/2-D25	5/2-D25	5/2-D25		5/3-D25	5/1-D25	5-D25	5/2-D25	5-D25	5/5-D25	5-D25	5/5-D25	5/2-D25	
腹筋	6-D10	6-D10	6-D10		6-D10		6-D10	6-D10		6-D10		6-D10		
下端筋	5/2-D25	5/2-D25	5/2-D25		5/3-D25	5-D25	5-D25	5/2-D25	5-D25	5/2-D25	5-D25	5/5-D25	5/2-D25	
スターラップ	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200		□ -D13-@200		□ -D13-@200	□ -D13-@200		□ -D13-@200		□ -D13-@200		

符号	FB1	FB2	FB3	FB4		FGa	FGb	
断面名	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	
▽GL	断面							
コンクリート	300×1300	300×1000	300×800	350×600		350×800	350×900	
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22		3-D22	3-D22	
腹筋	6-D10	4-D10	2-D10	2-D10		2-D10	4-D10	
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22		3-D22	3-D22	
スターラップ	□ -D10-@200	□ -D10-@200	□ -D10-@200	□ -D10-@200		□ -D13-@200	□ -D13-@200	



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長

卍建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY
一級建築士 大臣登録第329877号 横島康

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称)春野文化公民館建設工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

地中梁リスト

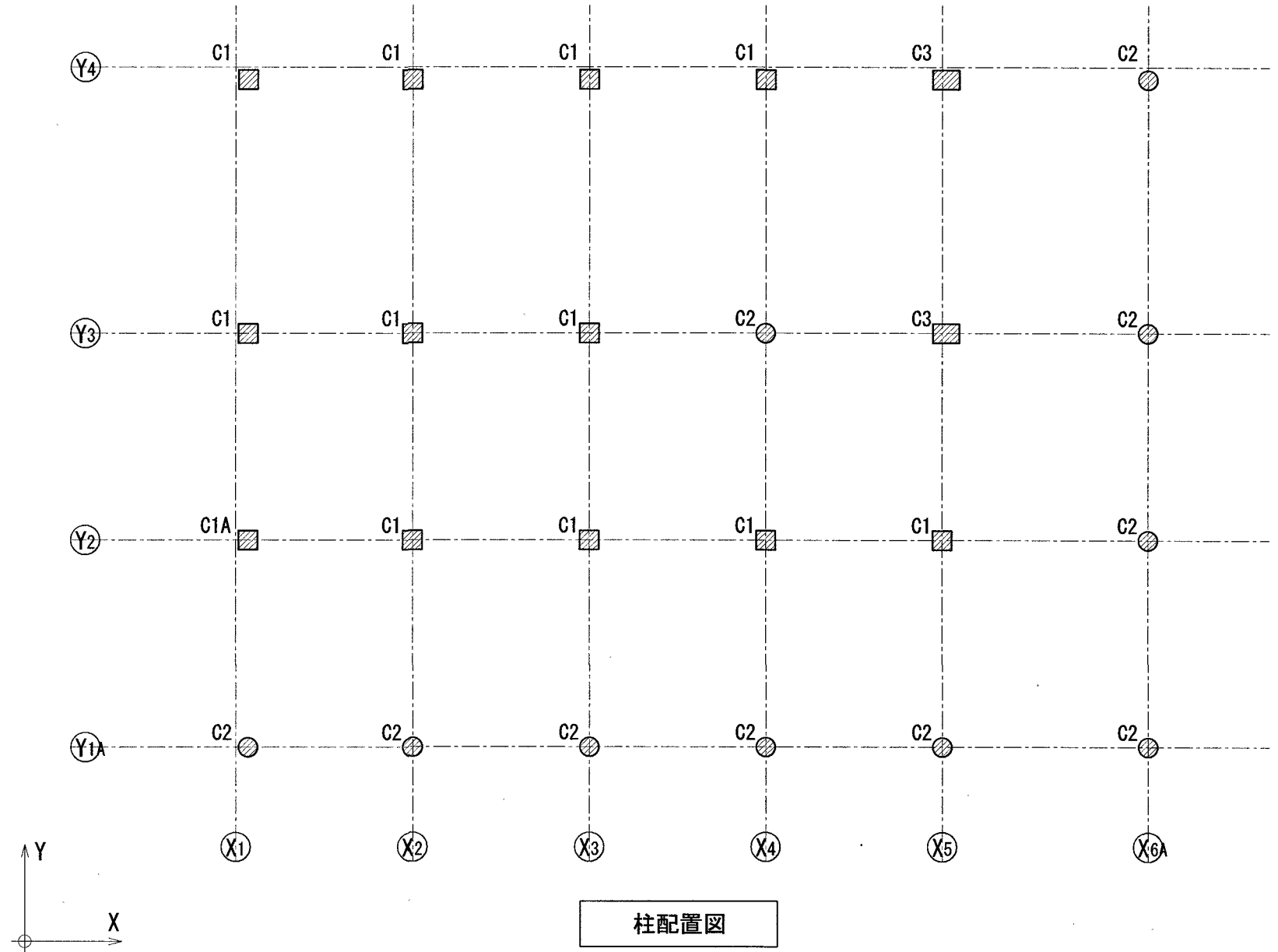
SCALE
1/40

構造
20

(A3は70%出力)

柱配筋リスト 1:40

階	符号	C1	C1A	C2	C3	
	断面名	全断面	全断面	全断面	全断面	
2F	梁中フープ	□ -D13-@100	□ -D13-@100	○ -D13-@100	□ -D13-@100	
	断面					
	コンクリート	650×650	650×650	650 φ	650×650	
	主筋	12 - D25	12 - D25	10 - D25	12 - D25	
	フープ	□ -D13-@100	□ -D13-@100	○ -D13-@100	□ -D13-@100	
1F	梁中フープ	□ -D13-@100	□ -D13-@100	○ -D13-@100	□ -D13-@100	
	断面					
	コンクリート	650×650	650×650	650 φ	900×650	
	主筋	12 - D25	14 - D25	10 - D25	14 - D25	
	フープ	□ -D13-@100	□ -D13-@100	○ -D13-@100	□ -D13-@100	
	地中梁中フープ	□ -D13-@100	□ -D13-@100	○ -D13-@100	□ -D13-@100	



大梁配筋リスト 1:40 ※ 梁の上端筋はX方向が上側とする。

層	符号	G1	G2	G3	G4	G11	G12		G13		
	断面名	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Ⓐ端	他端, 中央	端部	中央	
屋根	断面										
	コンクリート	400×800	250×800	450×800	400×700	400×850	400×850				
	上端筋	4-D25	2/2-D25	4/4-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25			
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10				
	下端筋	4-D25	2/2-D25	4/4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25			
	スターラップ	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200				
2FL	断面										
	コンクリート	400×650	400×650	400×650	400×650	400×700	400×700		400×700		
	上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4/3-D25	4/3-D25	
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4/2-D25	
	スターラップ	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200		□ -D13-@200		

層	符号	MG1	MG11	MG13
	断面名	全断面	全断面	全断面
RFL	断面			
	コンクリート	400×700	400×650	400×650
	上端筋	4-D25	3-D25	4-D25
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10
	下端筋	4-D25	3-D25	4-D25
	スターラップ	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長

岬建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY
一級建築士 大臣登録第329877号 横昌康

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

柱・大梁リスト

SCALE 1/40

構造 21

(A3は70%出力)

小梁配筋リスト 1:40

符号	B1	B2		B3	B3A		B4		B5		B6	B7	B8	
断面名	全断面	端部	中央	全断面	ⓧ2 端	他端, 中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	
断面														
コンクリート	350×600	350×600		300×600	300×600		300×650		400×700		250×800	300×600	350×650	
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3/2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3/3-D22	3-D19	4-D22	
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	
下端筋	4-D22	4-D22	4/2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3/3-D22	5-D22	5/4-D22	3/3-D22	3-D19	4-D22	
スターラップ	□ -D10-@200	□ -D10-@200		□ -D10-@200	□ -D10-@200		□ -D10-@200		□ -D13-@200		□ -D10-@200	□ -D10-@150	□ -D10-@200	

片持梁配筋リスト 1:40

符号	CG1	CG2	CG3	
断面名	全断面	全断面	全断面	
断面				
コンクリート	400×700	400×650	400×700	
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	
スターラップ	□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	

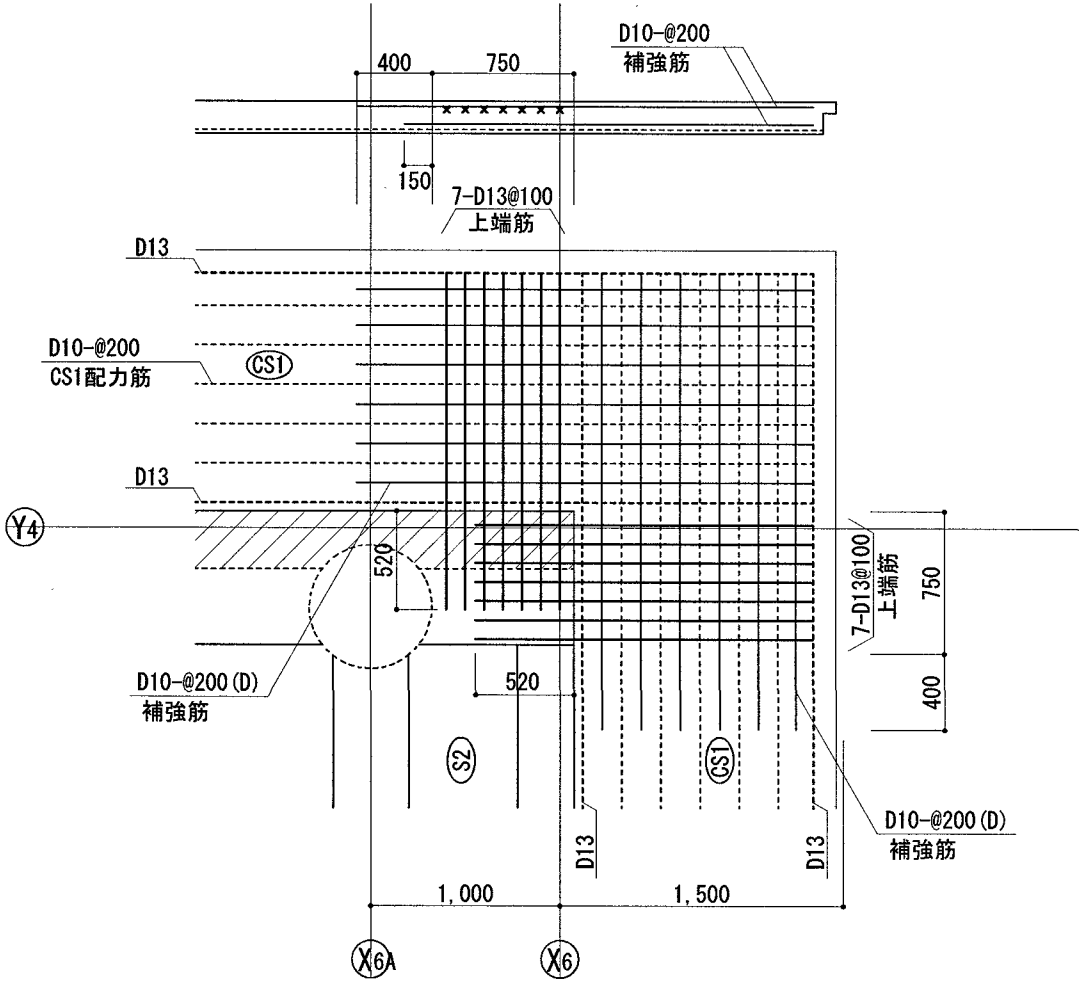
床版配筋リスト 1:40

符号	厚さ	位置	短辺（主筋）方向	長辺（配力筋）方向	備考
S1	150	上端筋	D10, D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S2	150	上端筋	D10-@200	D10, D13-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S3	250	上端筋	D13-@150	D10-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@200	
FS1	250	上端筋	D13-@200	D13-@200	EVビット
		下端筋	D13-@200	D13-@200	
FS2	150	上端筋	D10, D13-@200	D10-@200	配管ビット
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS1	150	上端筋	D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS2	250～150	上端筋	D13-@150	D10-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@200	

壁配筋リスト 1:40

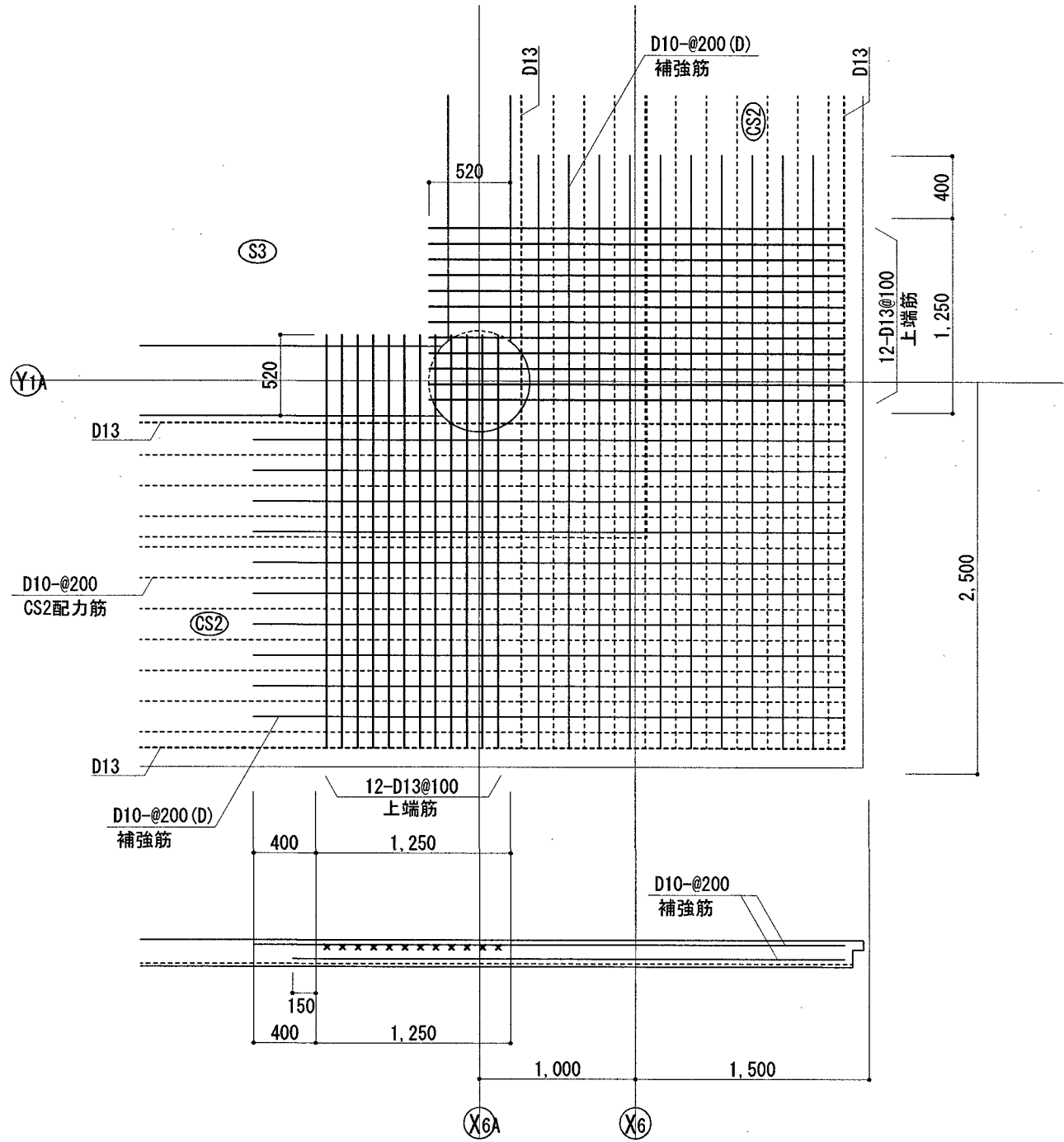
・(D)はダブル配筋、(TD)は千鳥ダブル配筋、(S)はシングル配筋を示す。

符号	W15	W18	W20	W25	EW15	EW18	EW20	EW25	W10
立断面									
配筋	縦筋	D10-@200 (D)	D10-@200 (D)	D13-@200 (D)	D13-@200 (D)	D10-@200 (D)	D13-@200 (D)	D13-@200 (D)	D10-@200 (S)
	横筋	D10-@200 (TD)	D13-@200 (D)	D13-@200 (D)	D13-@200 (D)	D10-@200 (TD)	D13-@200 (D)	D13-@100 (D)	D10-@200 (S)
開口補強筋	縦筋	2-D13	2-D13	—	2-D16	—	2-D13	4-D16	1-D13
	横筋	2-D13	2-D13	—	—	—	5-D16	6-D19	1-D13
	斜筋	2-D13 (S)	2-D13 (S)	—	—	—	2-D13 (S)	2-D16 (S)	1-D13



CS1出隅補強詳細図 1:40

※補強筋のみを示す。



CS2出隅補強詳細図 1:40

※補強筋のみを示す。



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長

呷建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY
一級建築士 大臣登録第329877号 横畠康

1-1-15 SHINYASIKI
KOSHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

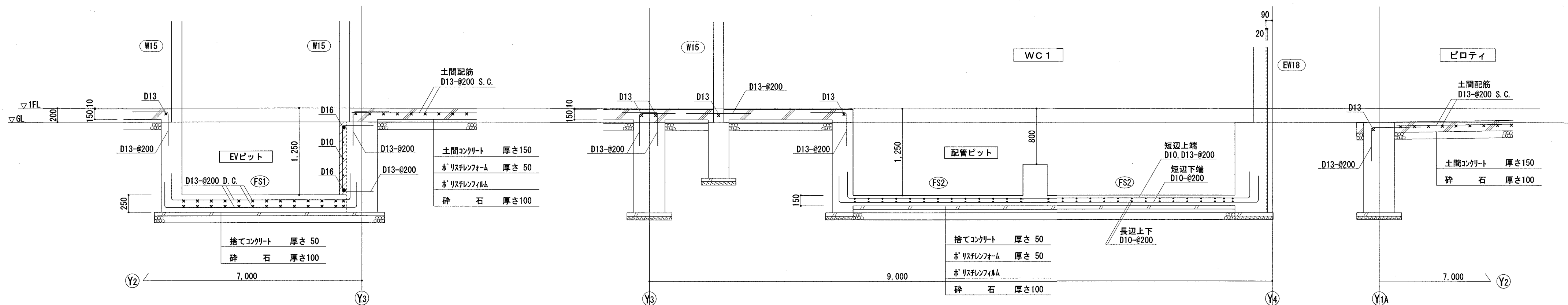
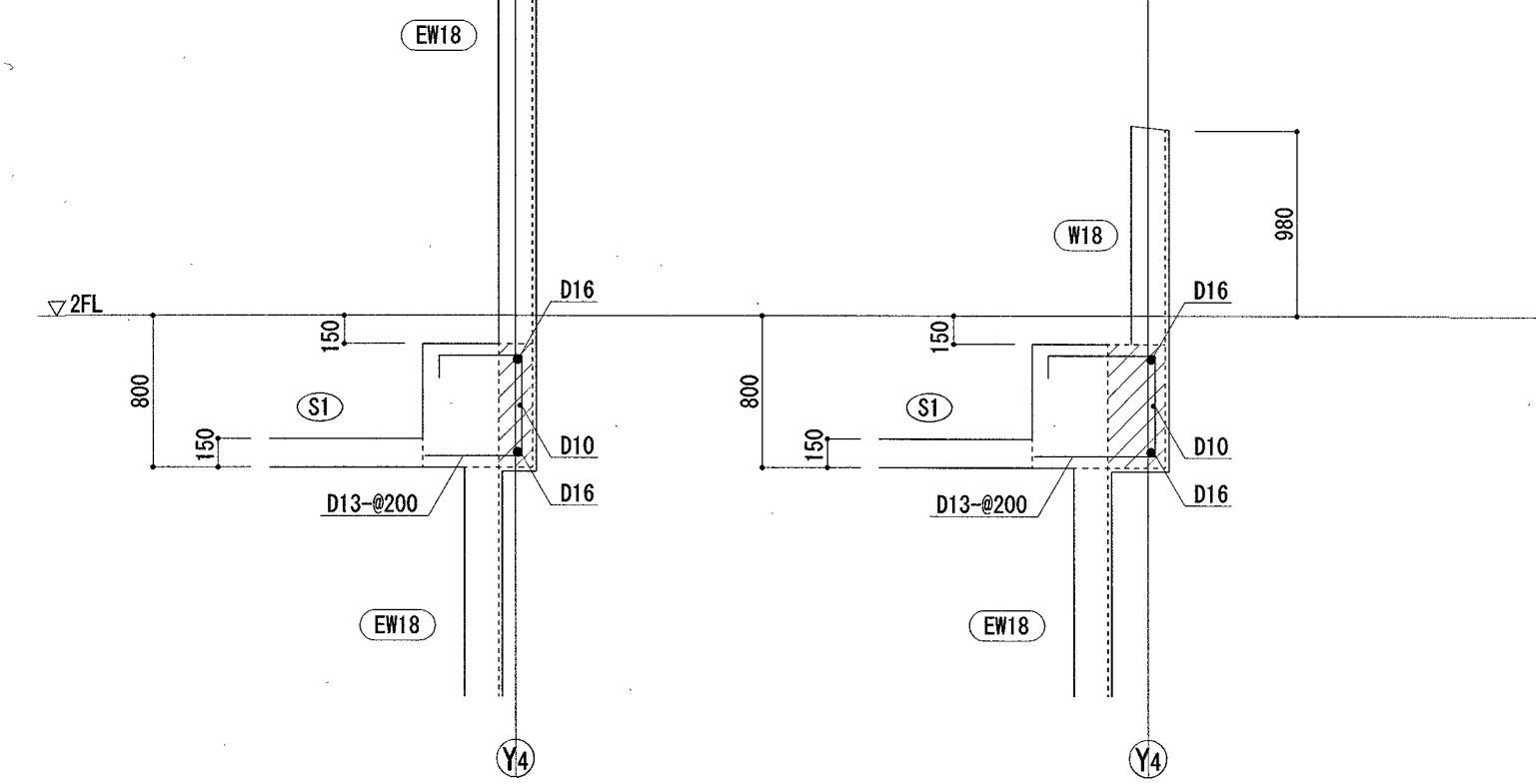
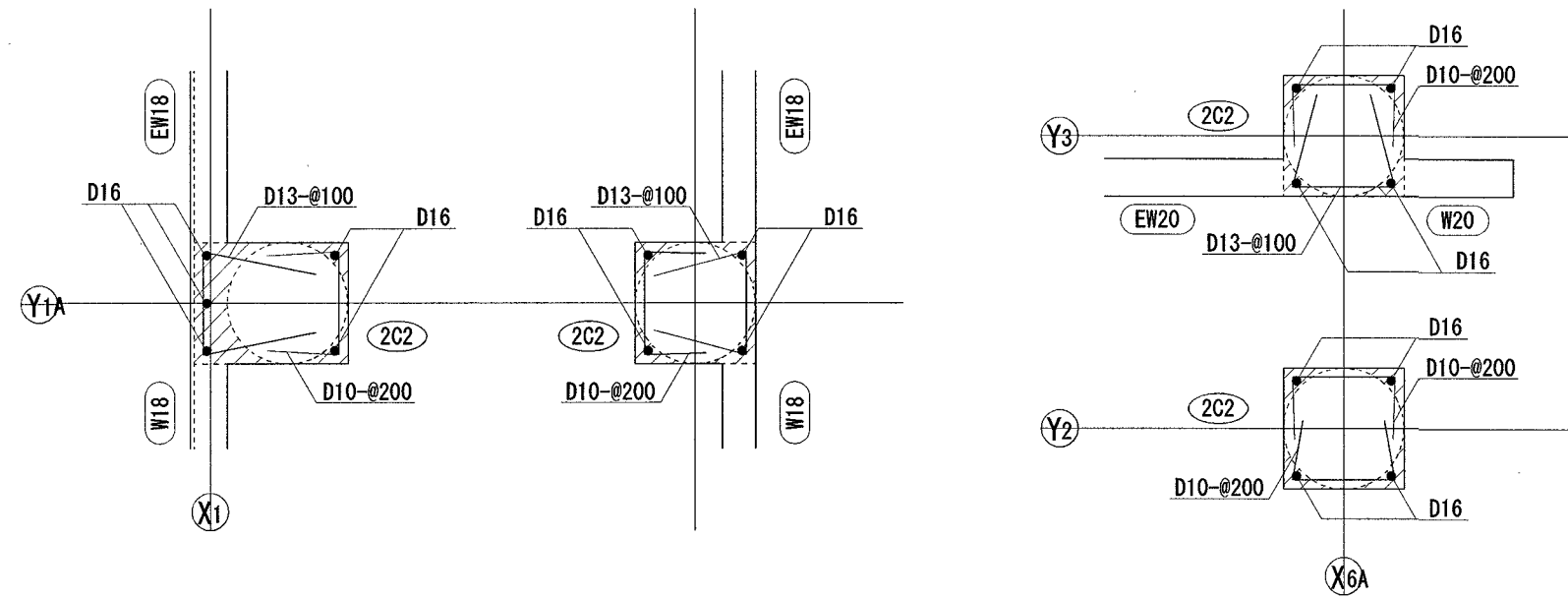
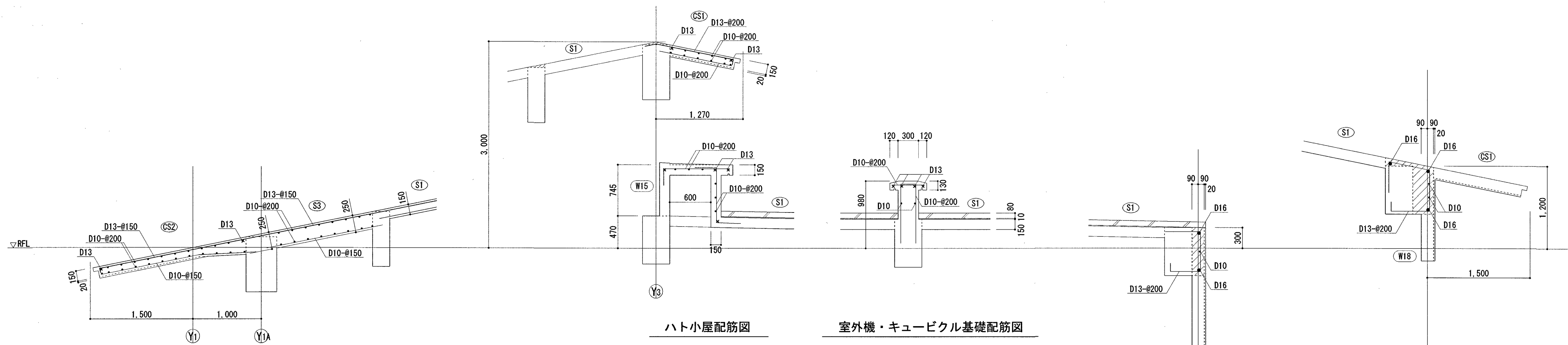
PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

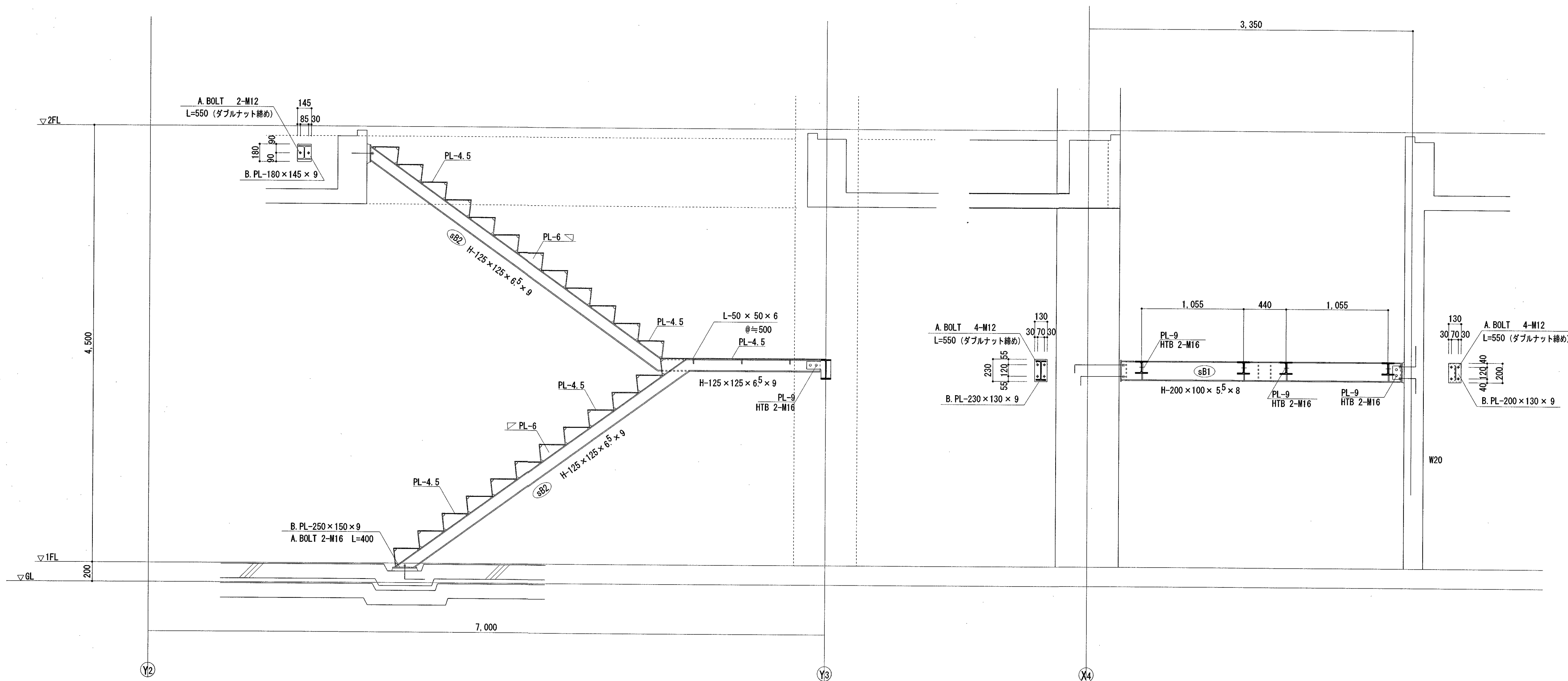
小梁・片持梁・壁
床版リスト

SCALE
1/40

構造
22

(A3は70%出力)





鉄骨階段 架構詳細図 1:30



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大	田	栗

建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY, 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

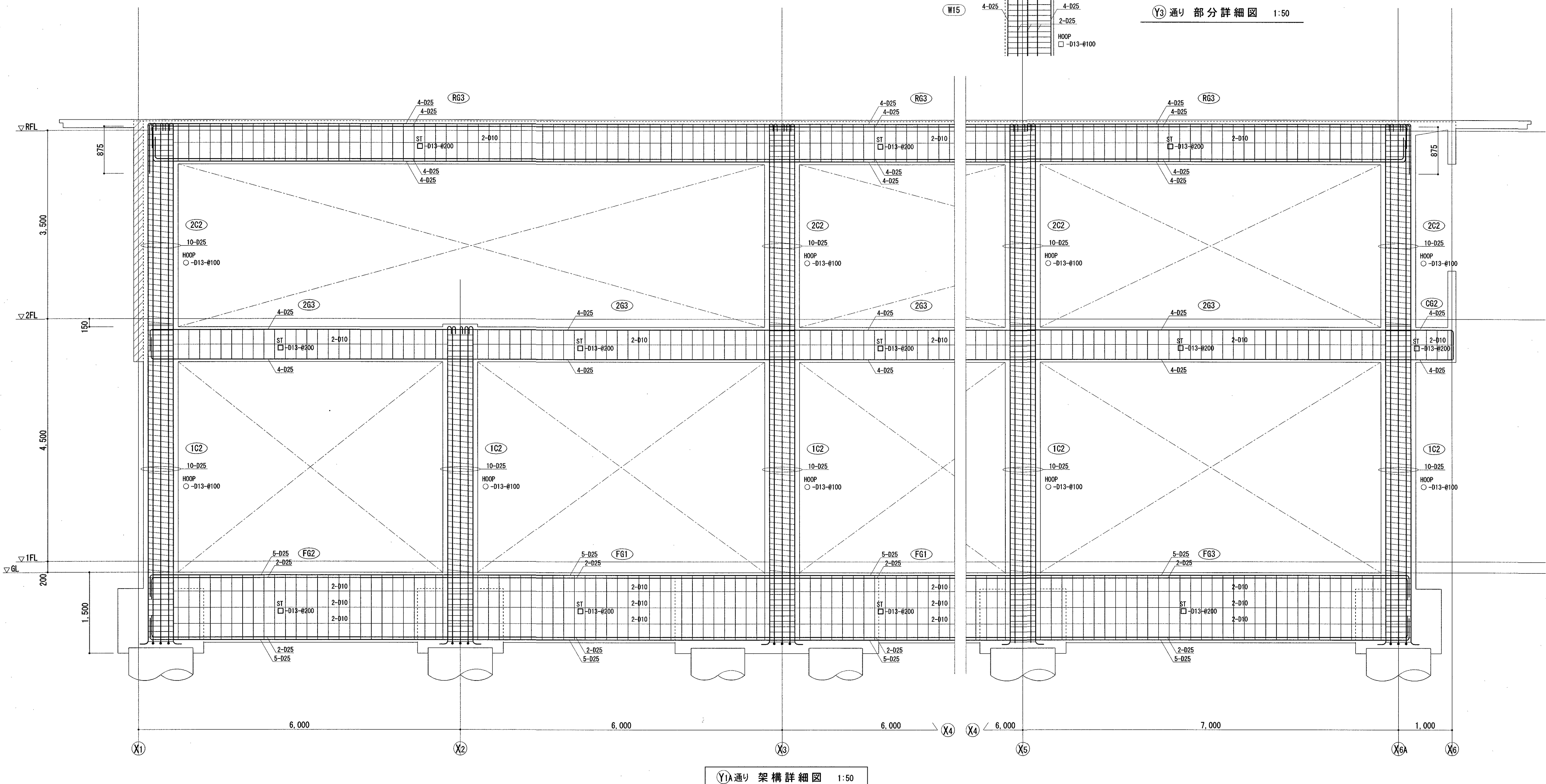
PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

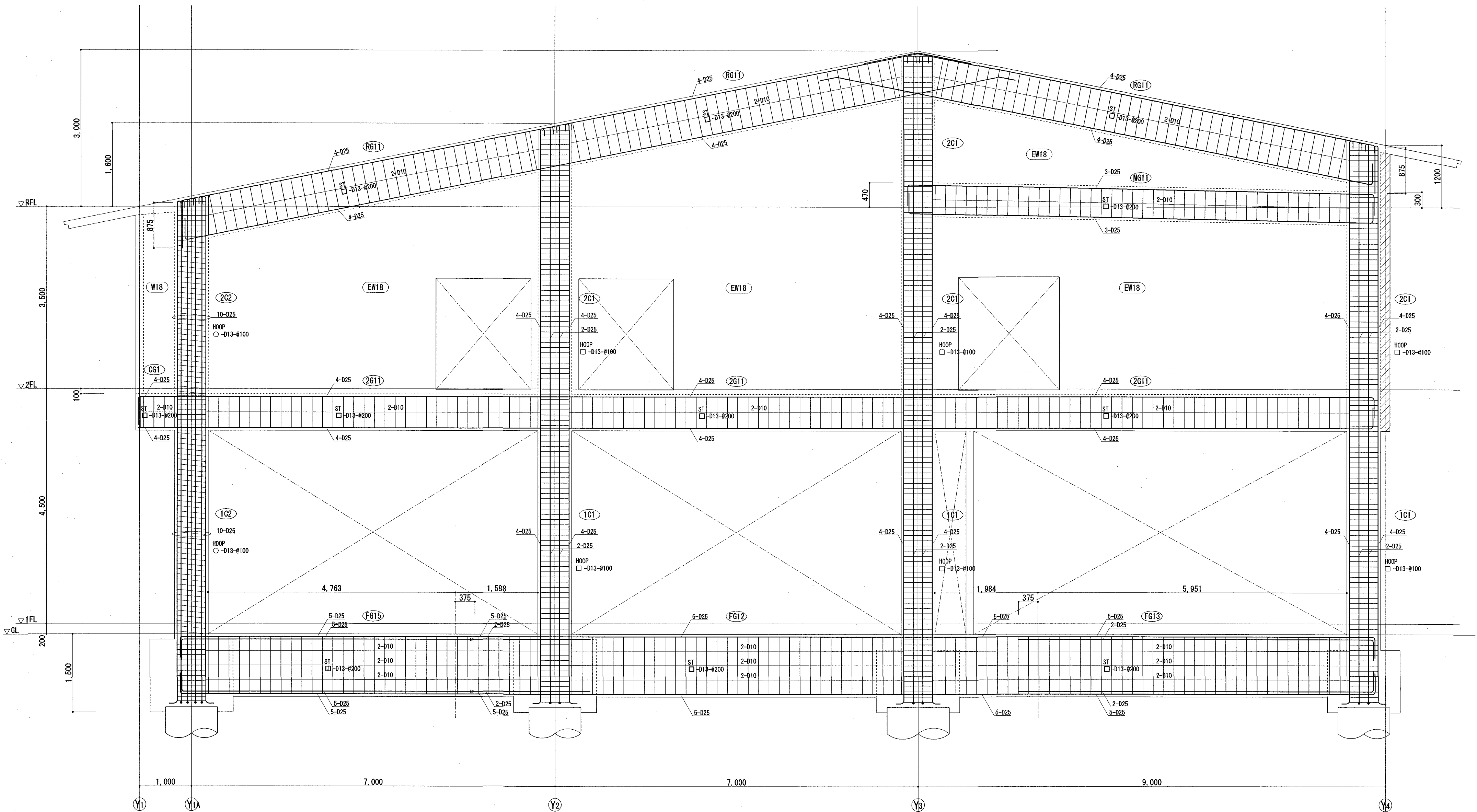
鉄骨階段架構詳細図

SCALE 1/30

(A3は70%出力)

構造 24





X3 通り 架構詳細図 1:50



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
 構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
 ○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大井	松本	松本

山建築工房
 SOU ARCHITECTURAL FACTORY
 一級建築士 大臣登録第329877号 横島康

1-1-15 SHINYASIKI
 KOCHI CITY, 780-0911 JAPAN
 PHONE 088-824-0177
 FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

架構詳細図 (2)

SCALE 1/50

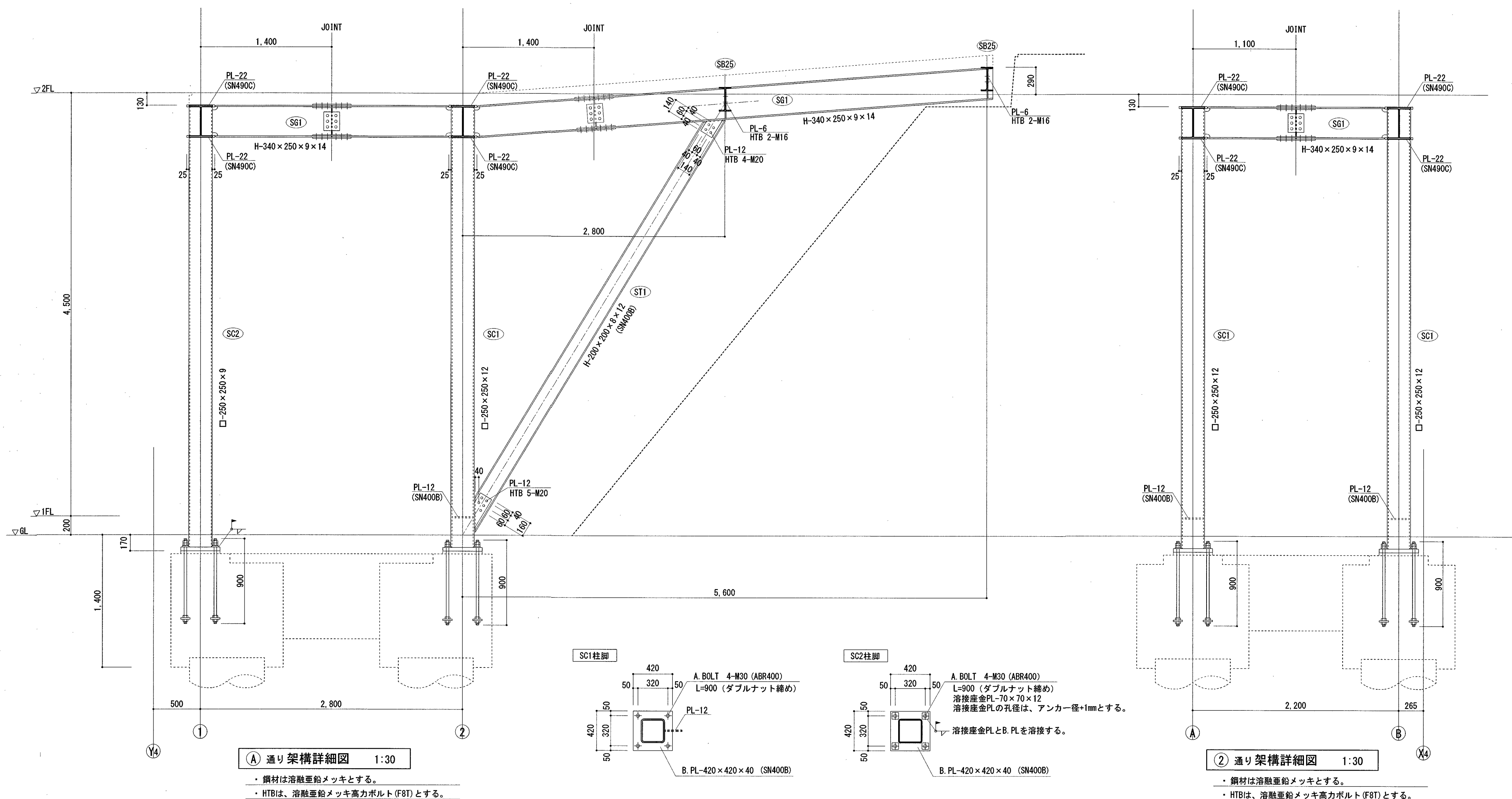
(A3は70%出力)

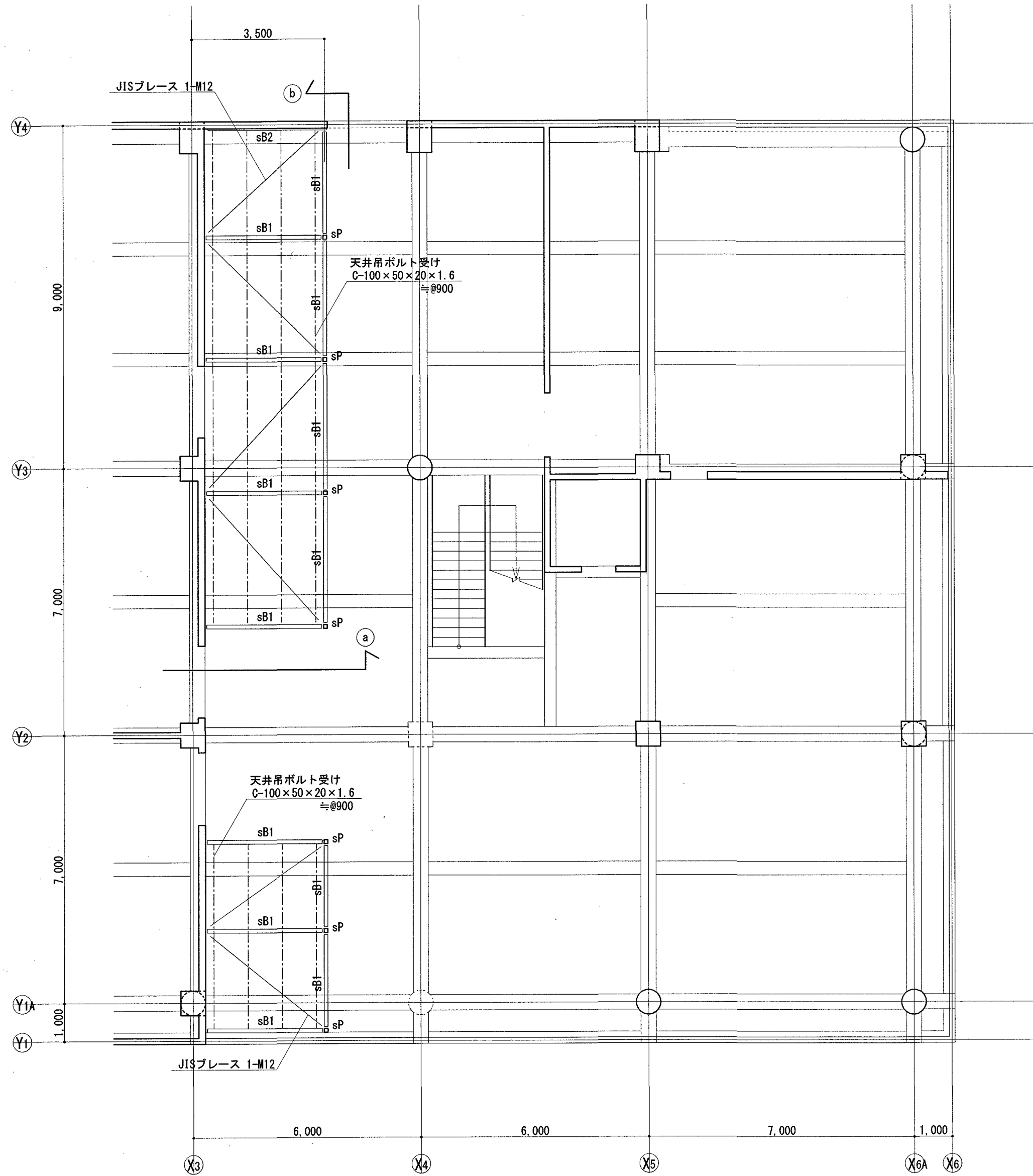
構造 26

Technical drawing of a cross-section of a bridge deck showing reinforcement details. The drawing includes dimensions for the deck width (410), reinforcement bar spacing (60, 90, 40), and bar diameters (10, 12, 16, 20). It also shows the location of reinforcement bars (HTB 12-M22 (F8T), HTB 6-M22 (F8T), 2PL-200 x 170 x 9) and the overall height of the deck (340).

[illegible]

1. 鋼 材 柱	BCR295
大梁	SN400B
小梁	SS400
その他特記なき鋼材	SS400





間仕切下地鉄骨天井伏図 1:100

鉄骨部材リスト

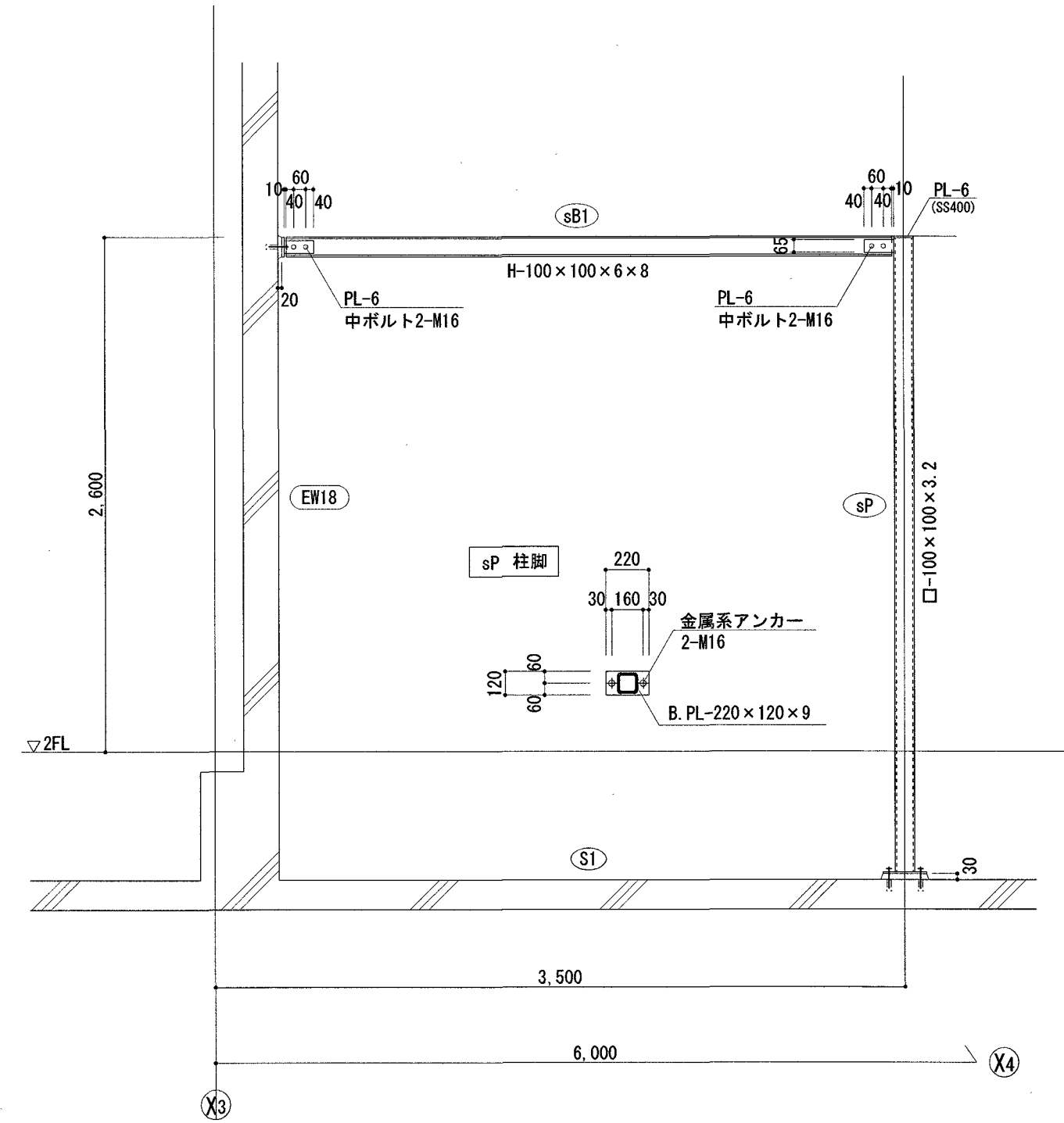
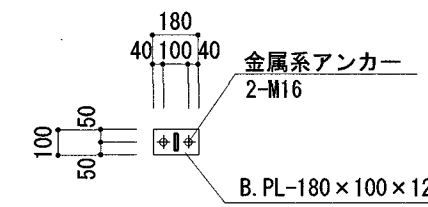
材名	使用鋼材
sP	□ - 100 × 100 × 3.2 (STKR400) λ max=82
sB1	H - 100 × 100 × 6 × 8 (SS400)
sB2	[- 100 × 50 × 5 × 7.5 (SS400)
天井ブレース	JISブレース 1-M12

天井ブレース リスト

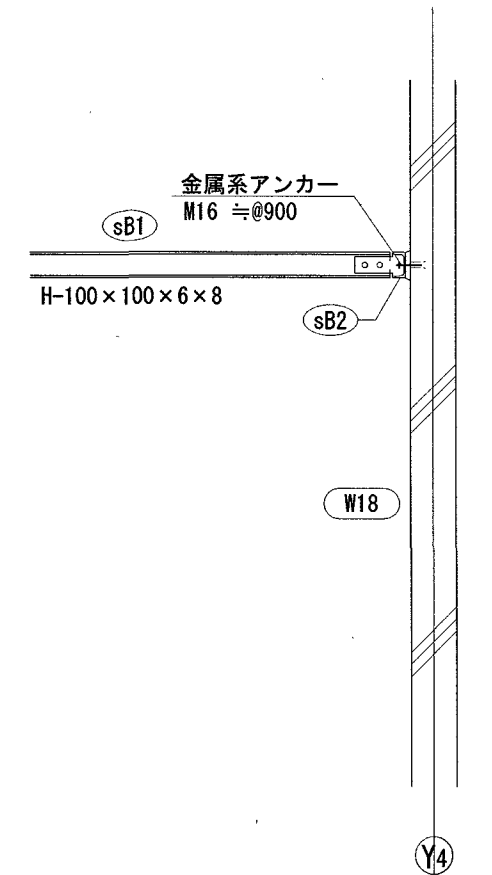
※ ブレースはJISA5540規格品、HTBはS10T (F10T可)とする。

JIS ブレース 1-M12	溶接要領図
	* G. PLはブレースシート(JIS7'レース対応品)も可とする。 梁7'ランジ'天端 2S以上 S 2S以上

sB1 アンカー部



a 矢視図 1:30



b 矢視図 1:30



一級建築士 大臣登録 第 354762 号
構造設計一級建築士 交付番号 10211 号
〇 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長
江口	大下	田中	松本

岬建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY

1-1-15 SHINYASIKI
KOCHI CITY. 780-0911 JAPAN
PHONE 088-824-0177
FAX 088-824-0216

(仮称) 春野文化公民館建設工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

間仕切下地鉄骨構造図

SCALE
1/100, 30
(A3は70%出力)

構造
28

QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

合成スラブ工業会仕様

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
QL99-50 QL99-75	端部加工 □有 □無し	□裏面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ^{※1} □亜鉛めっき [Z12 Z27] □JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) [CY18 CY27] □その他 () □無し
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

種 類	普通コンクリート	軽量コンクリート	□1種 □2種
設計基準強度	□18 □21 □24 □ () N/mm ²		
厚さ(QLデッキ山)	□60 □70 □80 □85 □90 □95 □100 □ () mm		

材料/溶接金網・異形鉄筋	溶接金網 JIS G 3551 □φ6-75×75 □φ6-100×100 □φ6-150×150 □φ6-200×200 □ ()	異形鉄筋 JIS G 3112、3117 □D10-150×150 □D10-200×200 □ ()
耐火補強筋	JIS G 3112、3117 D13-@300	

接 合	□頭付きスタッド JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22 (各長さ・ピッチは特記による ^{※3}) □焼ばし栓溶接 下記焼ばし栓溶接の項による □打込み板 接合箇所は特記による □その他
梁との接合	

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コナリ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純	普通/軽量	要	FP060FL-9101
QL99-75	床2時間	連続		要	FP060FL-9095

その他	□指定なし □ () □ ()
-----	-------------------

特 記	支保工有無 □有 □無 □その他: 上欄内の採用項目に□を記して下さい。
-----	--------------------------------------

焼ばし栓溶接	デッキプレート幅方向 QL99-50 QL99-75
--------	----------------------------

デッキプレートスパン方向	「QLデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。 $A_w = \frac{1.5 Q_a}{Q_p} \times 1000 \text{mm}$ かつ 600mm 以下 Q _a : 焼ばし栓溶接1個あたりの長期許容せん断力(N) Q _p : 設計最大せん断力(N/mm) A _w : 焼ばし栓溶接ピッチ
--------------	--

アクセサリ	フラッシング (QLデッキ割付の幅型に用いる) W(100~250) 2.5 クローサー (QLデッキの小口ぎに用いる) 185
-------	---

施工時許容スパン表 (デッキプレートの検計)	QL99-50 (単位: m) コンクリート厚(mm) 60 70 80 90 100 単連 (内法) 2.52 2.75 2.47 2.69 2.42 2.64 2.37 2.59 2.32 2.54 2連 3.38 3.63 3.31 3.53 3.24 3.46 3.19 3.41 3.14 3.36 3連 3.12 3.40 3.05 3.32 2.97 3.24 2.89 3.16 2.81 3.08
------------------------	---

QL99-75 (単位: m)	コンクリート厚(mm) 60 70 80 90 100 単連 (内法) 3.31 3.61 3.24 3.55 3.18 3.48 3.13 3.42 3.07 3.37 2連 4.02 4.30 3.96 4.24 3.91 4.18 3.83 4.13 3.74 4.07 3連 3.74 4.03 3.68 3.99 3.63 3.93 3.58 3.88 3.53 3.83
-----------------	--

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】
支持条件: 鉄骨(S)梁 大梁: 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁: 鉄骨(S)梁
コンクリート: 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1種・2種)

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	φ6-100×100	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	D10~@200	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

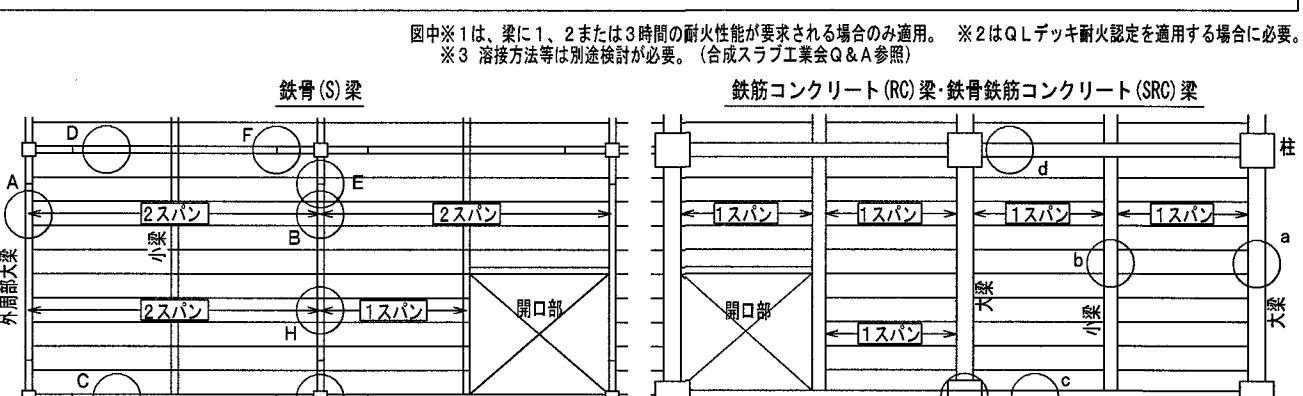
耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

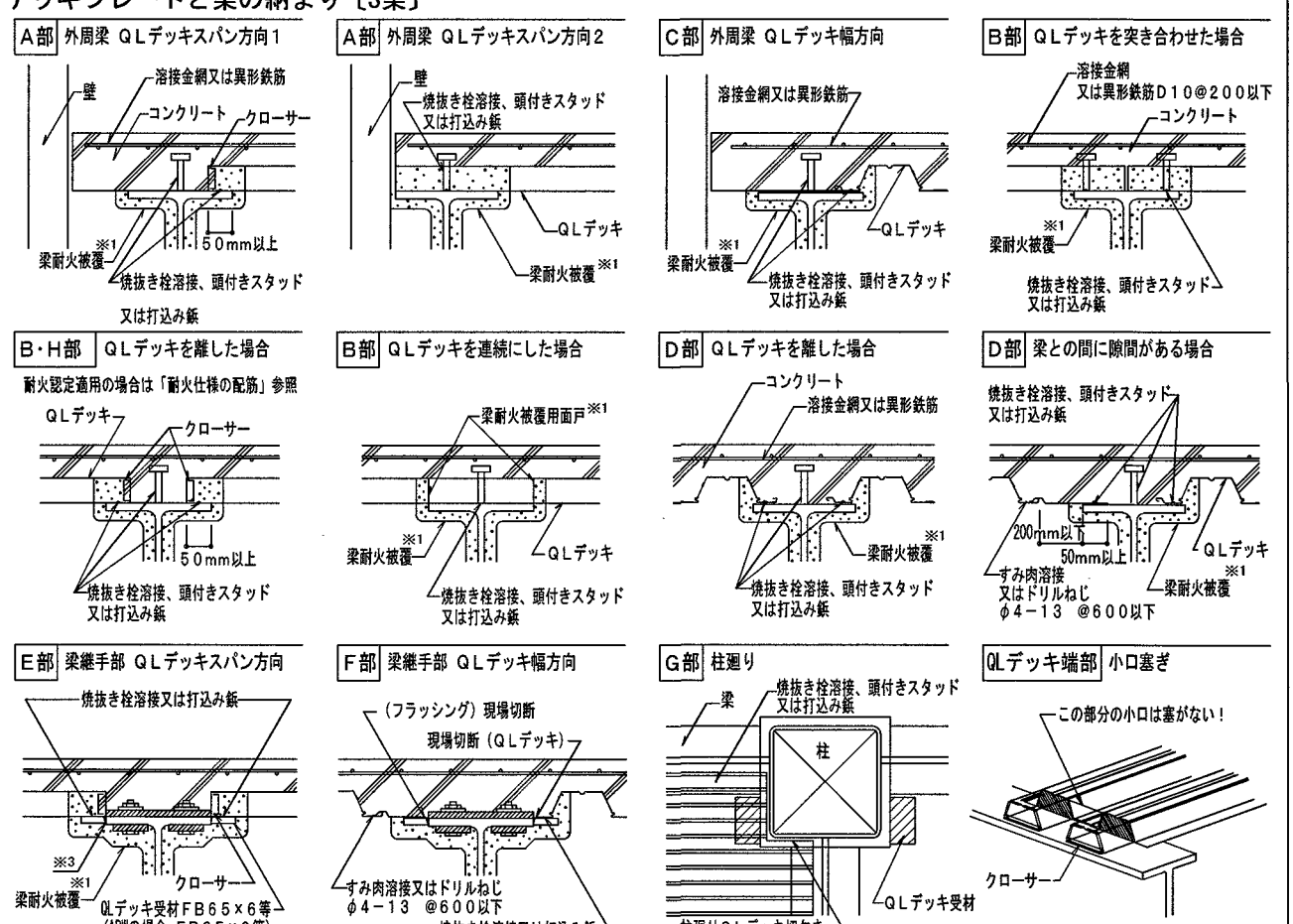
耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10~@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照

標準納まり

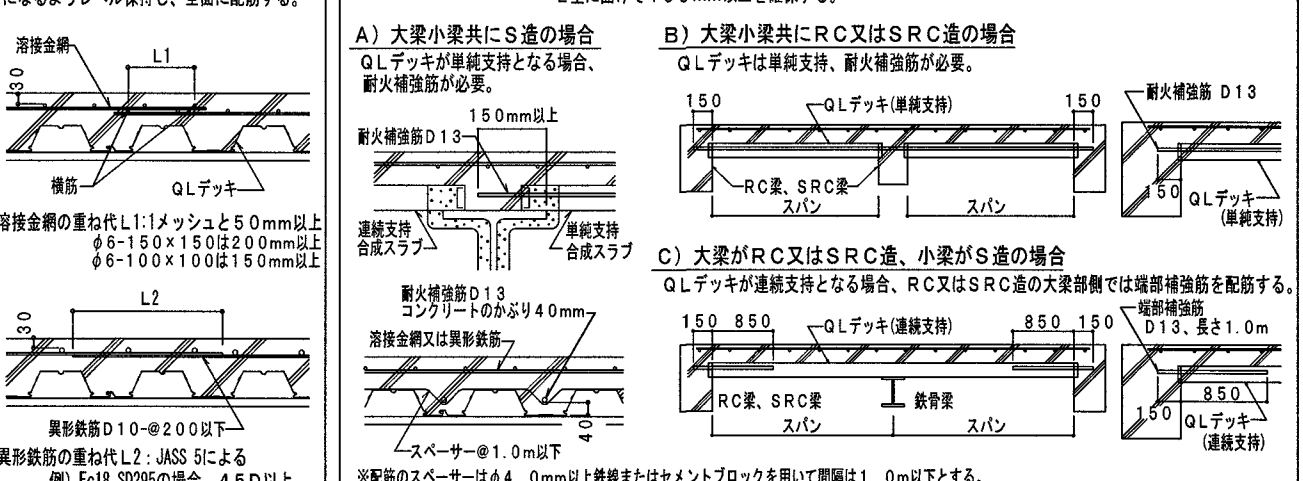


デッキプレートと梁の納まり [SRC梁]

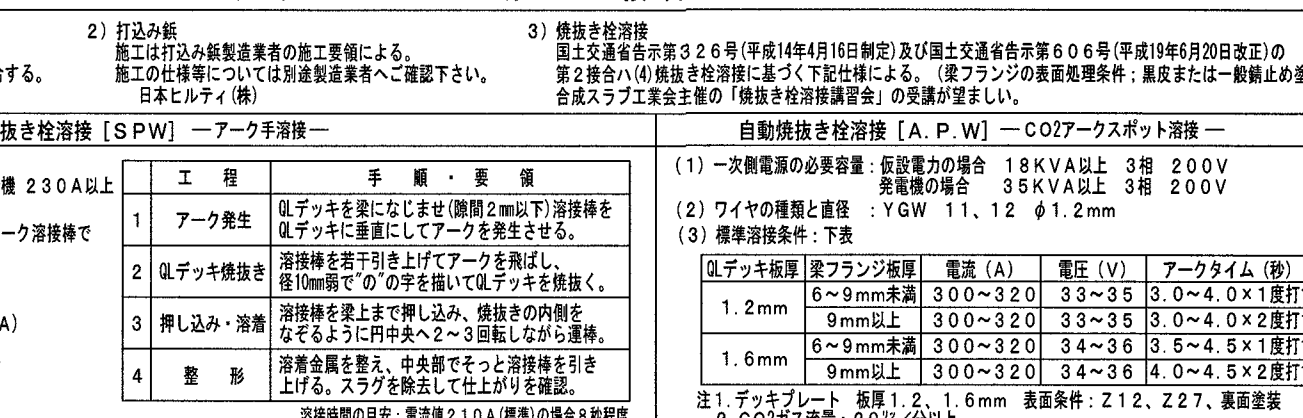


スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



デッキプレートと梁との接合

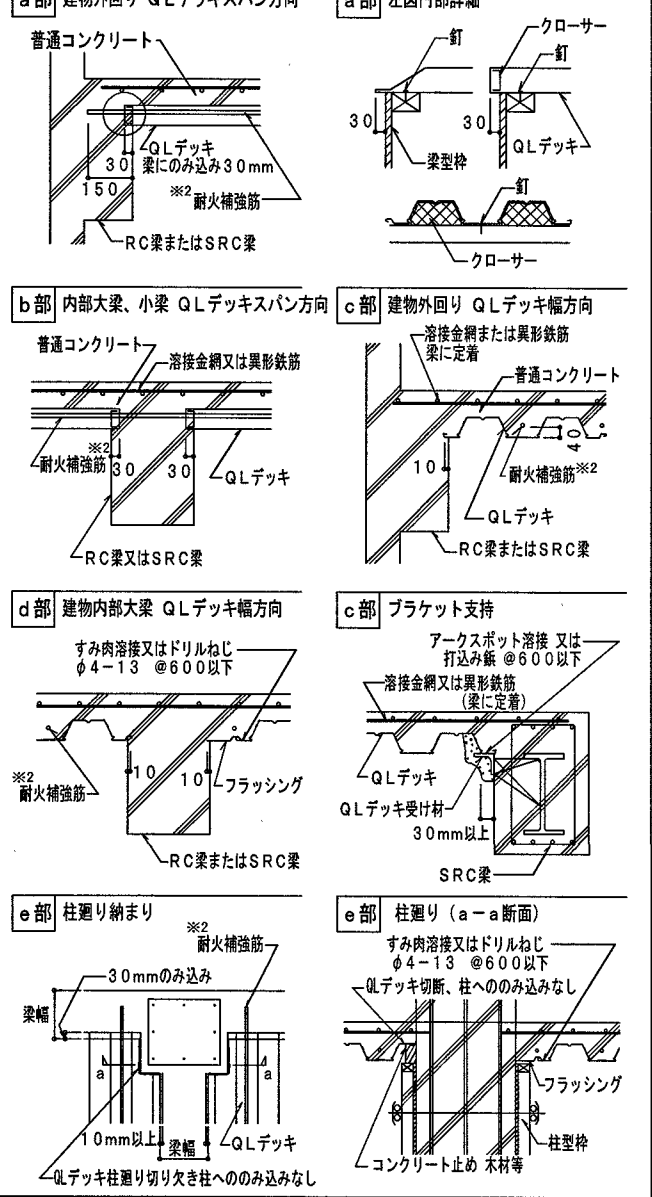


S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】
【連続支持】

その他の納まり・参考例については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



開口部補強案

1) 開口がφ150程度の場合
A) 開口開閉≧3×開口径 B) 開口開閉<3×開口径

2) w:600mm以下 L:900mm程度以下

3) w>600mmの場合

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」(1)合成スラブの設計、4.合成スラブの開口補強方法を参照する。



一級建築士 大臣登録 第35472号
構造設計一級建築士 交付番号 10211号
○ 佐々木 尊一

係	係長	課長補佐	課長

叫建築工房
SOU ARCHITECTURAL FACTORY
一級建築士 大臣登録第329877号 横島康

(仮称) 春野文化公民館建設工事
PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

【参考図】
QLデッキ合成スラブ
設計・施工標準
SCALE 1/1
(A3は70%出力)